

雜 報

大東亞戰爭日記摘要

- 6月19日 泰國へ2億圓の借款供與契約成立す。
- 6月20日 焦慮のチャーチル 18日突如訪米、ル大統領と頻勢挽回の策を講ず。
- 6月21日 午後3時35分(米時間 20日午後10時35分)帝國潜水艦部隊バンクーバー島の重要軍事施設を砲撃し、折柄會談中の米・英兩互頭をアツト云はせる。
- 6月23日 上海特電 米側情報によれば20日、21日の兩日に互りカナダのバンクーバー島及びその南方米國オレゴン州西部沿岸が相繼いで我潜水艦に砲撃せられた。
- 6月24日 北阿戰線ロメル將軍麾下の樞軸軍は早くも埃及國境を越えて進撃し先鋒は24日夜要衝ソルムを占領した。英朝野愕然。
- 7月19日 午後4時30分大本營より  
帝國海軍の開戦以來7月10日迄に撃沈破せる敵潜水艦累計  
撃沈 59隻、撃破 38隻、合計 97隻 と發表。  
(備考) 開戦前東洋海域にあつた敵潜水艦は  
マニラ方面——米大型潛艦約 30隻  
シンガポール及び香港——英 10隻餘  
蘭領ボルネオ方面——約 20隻  
合計 約 60隻 なり。  
又米海軍が戦前保有せしものは  
大型 40隻、中型 40隻、沿岸防禦用其の他の小型約 50隻。  
この他に開戦後竣工せしもの二、三十隻、合計百五、六十隻位のものなり。
- 7月22日 午後4時陸軍省發表 敵軍潜伏の「隼」部隊長加藤建夫中佐の感狀七度上聞に達し二階級特進。
- 7月24日 早曉ロストフ市を占領す。

業 界 雜 報

鐵鋼統制會定例理事會—7月9日—

上記に於て本年度第24半期における鐵鋼石の割當數量を決定したが最近の需給關係から中南支および南方圏よりの鐵鑛石輸送が好轉したため質的、量的にも良品位鐵石を確保し得たことは注目される。なほ同理事會で臺灣における鋼材配給の一元的統制ならびに需給の適正を計るための臺灣鋼材販賣會社(資本金100萬圓)設立の件も正式決定した。

滿洲鐵鋼協議會設立

鐵鋼統制會では在滿洲鐵鋼統制會會員との連絡強化のため一部石炭業者をも含めて新たに滿洲鐵鋼協議會を設立することに決定、同協議會に支部的役制を遂行させることとなつた。なほ同協議會理事長は現鐵鋼統制會梅根理事が兼任、日滿鐵鋼統制の綜合的運営に當る。  
(7月10日)

日鐵八幡製鐵技術者養成(假名)10月1日より開設

同教習所は第一部、第二部に分れいづれも製銑、製鋼、歴延、コ

ークス、化成、機械、電氣、土木建築、採鑛および検査の各科に分れ専門學校以上の學力を授ける。

第一部は社外一般および日鐵従業員中より銑術の上入所させ2ケ年で卒業、第二部は5ケ年以上日鐵の従業員たるものを入所資格者とし1ケ年卒業で入所中は授業料は徴收せず、全員寄宿舎に收容し手當として社外よりの入所者には月40圓程度を支給し卒業後は高等工業卒業に準じ卒業と同時に日鐵社員に登用、なほ社外よりの入所志願者は中等學校卒業者または専檢合格者に限り、代數、幾何、物理、化學、人物考査を行ふので履歴書3通、寫眞1通(名刺判脱帽半身)成績證明書1通を7月25日までに八幡製鐵所教育局宛送付すればよい。  
(7月12日)

製鐵業の南方立地

日本經濟聯盟會では今回製鐵業並にセメント工業の南方立地に關する意見書を決定、13日企畫院總裁及び大東亞建設審議會にこれを建議した。燃料として木炭を利用せんとするものである。  
(7月14日)

製鐵原料一元買取、プール計算

之れが實施を企圖し鐵鋼統制會に於ては目下具體案を考案中である。  
(7月20日)

無煙炭による製鐵法

鮮内に豊富に埋藏する無煙炭を鐵に結びつける無煙炭製鐵法の研究はかねて總督府遠藤技師の手で進められ2年前から屑鐵禁止により無用化した鑄鋼所を實驗工場として研究を重ねた結果最近漸くその製鐵法に成功し企業的にも成立つ見透しがついたのでいよいよ本格的に無煙炭による製鐵に乗り出す事となつた、新製鐵法は從來のコークスの代りに無煙炭を以てするものでこれによれば工場建設費並に資材は從來の10分の1位で済み且つ3箇月間の短時日で操業出来るようになるので1艘の鐵でも多く必要な時局柄この製法の成功は鮮内製鐵業に新活路を切り拓くと共に無煙炭の供給過剩を一掃するものとして各方面から期待されてゐる。  
(7月20日)

輕金屬等第2次9統制會設立命令順次に發令されん

政府は28日の閣議に重要産業指定に關する件を上程、第2次指定の重要産業統制會を決定、近く閣令で公布することゝなつた。  
(7月29日)

工業品規格統一調査會に於ける5月中に開催の委員會名並にその議題

1. 第1部第1委員會(20)
  - 1, 2. 一般構造用歴延鋼材及び炭素鋼軌條臨時規格案
  3. 各種歴延鋼材の單純化
2. 第1部第1委員會第2小委員會(5, 18)
  1. ピアノ線材
  2. ピアノ線
3. 第1部第2委員會第1小委員會(28, 29)
  - 1, 2. ホワイトメタル及びアルミニウム合金分析方法
4. 第1部第5委員會(30)
  - 鐵鋼及び鐵鑛の砒素分析方法
5. 第2部第5委員會(18)